

呉市手をつなぐ育成会

～10月号～

# 育成会だより

障がい児者を守り、その福祉の向上を図ることを目的とします。



令和4年10月1日発行

呉市手をつなぐ育成会

会長 中川 潤二

〒737-0051

呉市中央5丁目12-21

呉市福祉会館3階

Tel (0823) 24-2260

Fax (0823) 24-2568

E-mail kure-teotunagu

@herb.ocn.ne.jp

<http://kure-teotunagu.org/>

呉市立横路小学校

ひまわり学級児童作



ハッピー ハロウィン

## もくじ

- 表紙 呉市立横路小学校
- P.2 「カエルが」 育成会会長 中川潤二  
ひまわり写真紹介 お詫び
- P.3 連載4/ ふれあいコンサートから歌う会へ  
本人支援者・うたう会指導者 岩木 達
- P.4 暮しの中からまなぶ 書籍紹介
- P.5 手をつなぎ生きる vol. 15  
「武ちゃんのお母さん！」
- P.6 ぼくの学級！わたしの学級！  
呉市立和庄中学校
- P.7 本人活動報告(台風、その時)学習会案内
- P.8 お礼 お知らせ 編集後記

## 10.11月の予定

- 10月9日(日)  
全国大会 本人リモート会議 10:00(福祉会館育成会)  
『手話言語条例・情報コミュニケーション条例』ってなに?  
13:00(福祉会館3階会議室)
- 10月15日(土)  
いくせい太鼓 14:00(呉つばき会館)
- 10月16日(日)  
本人部会会議 10:30(呉つばき会館)  
うたう会 13:30(呉つばき会館)
- 10月23日(日)  
県福祉大会・中四国大会(広島市立広島特別支援学校)
- 11月19日(土)  
いくせい太鼓 14:00(呉つばき会館)
- 11月20日(日)  
本人部会会議 10:30(呉つばき会館)  
うたう会 13:30(呉つばき会館)
- ★コロナ感染状況により変更になる場合もあります。  
ご確認ください。
- ★次回発行予定は12月1日です。11月12月合併号です。





## 「カエルが」

会長 中川 潤二



小学生のころハーモニカが苦手でした。ただ「カエルの合唱」だけは吹けるようになりました。「ドレミファミレド…」

ともかく易しいのです。吹けると楽しくなります。みんなで合わせると、もっと楽しくなります。いくせい太鼓もそうですが、音を合わせるという一体感は人の感性を育てます。

ここでクイズです。「父さんカエルがケロ、母さんカエルがケロケロ、それでは子供は…」子供達にリズムよく聞くと、「ケロケロケロ」と答えてくれます。

そしてもう一度、ゆっくり言うと「カエルの子は鳴かない。オタマジャクシだから」と答えてくれます。「そうだね。正解です。」とネタばらしをして子供たちは納得します。しかし、このクイズにはおかしな点があるのです。お気づきになりますか？「母さんカエルはケロケロ」というところです。

実は鳴いているカエルはオスです。縄張りを主張し、メスにアピールするために鳴いています。従って母さんカエルはそもそも鳴かないのです。



子供達には心地よいリズムで、カエルの子はオタマジャクシだから鳴かないよ。でも良いのですが、一歩情報を取り入れて、こういうこともあるというのを知ておくのも大事だと思います。

さまざまな情報があふれています。ふと立ち止まってみることも大事だと思います。(さらに調べてみると、トノサマガエルのメスだけはたまに鳴くことがあるようです。)

私の家の小さな庭に降りる所に、ブロックを積んでいます。そのブロックの下に一匹カエルが住んでいます。殆ど顔を見せないのですが、ひょっこり生きてますよって飛び出します。一匹だけなので合唱はできません。カエル男声合唱団にするには我が家の中庭は狭すぎます。仲間がどこにいるのか、そもそもどうやって我が家に住み着いたのか不思議です。今、何カエルなのかどんなふうに生きているのか気になっています。何とか生きていって欲しいと思っています。情報収集をしています。

後日談:調べてみると赤ガエルでした



## 続 エールの花～ひまわりの種～プロジェクト(社会を明るくする運動) 「大きなひまわりが咲いたよ」 ひまわりの写真が届きました。



### お詫び

育成会だより～9月号～(P.4)について、一部文字が印字されていませんでした。再度掲載させていただきます。



### 災害用伝言板

携帯電話やPHSからインターネットサービスを使用して文字情報を登録し、自分の電話番号を知っている家族などが、情報を閲覧できます。

## 連載4

「第25回県福祉大会」で本人さんたちは、グループ交流をし、手作り楽器を作り共に歌いました。その後「うたう会・本人部会」の立ち上げ、活動がスタート。岩木さんのご指導の下、呉の本人活動の輪が少しずつ県内の「はつらつ大会(本人大会)」「はつらつ友の会」と拡がっていきました。



### =ふれあいコンサートからうたう会へ=

定年退職し、新たに施行された再任用制度に応募して、西条小学校へ音楽の専科教員として電車通勤している時です。「作業所が休みになった土曜日に、余暇活動として音楽で何かさせたい。」と、ひとりのお母さんから相談を受けました。

ふれあいコンサートでは、手作り楽器で、ワッツの演奏に合わせて歌いながら楽しんでいました。

3年前、二河中学校に県下の仲間と集い、手作り楽器で盛り上りました。こんなことがあって、余暇活動を「音楽で」と、私が名指しされたのでしょう。

どんな音楽活動をするか。ふれコンのようにするには、録音した音楽に合わせて楽しむことでできます。また、旋律楽器の演奏も考えました。身近な楽器はリコーダーや鍵盤ハーモニカです。

しかし管楽器は、唾をうまくコントロールしないと、吹き口が詰まつたら音が出ません。あれこれ考えた末、歌で音楽を楽しむことにしました。そして、育成会の本人活動事業「うたう会」として発足しました。

平成14年(2002年)12月14日土曜日午後の市民会館に、「おお ブレネリ・大きな古時計」など5曲を用意して臨みました。10人余りのメンバーとボランティア、保護者が集まっておられ、オルガンで伴奏し、声をしっかり届けるようにして一緒に歌いました。保護者からは、楽しかったと言ってもらいました。

次の1月には、リクエスト曲を含め、歌詞カードを作り、3月の会には、打楽器を取り入れ、歌いながら自由に音を出しました。多忙だった再任用

の教員生活は3月で終り、4月からは呉市の嘱託としてつばき会館文化フロア一勤務となり、ゆとりを

本人部会支援者・うたう会指導者 岩木 達

持ってうたう会ができるようになりました。

メンバーも増えました。メンバーには、歌が歌えない人もいます。みんなの歌に興じて室内を闊歩する人、打楽器を自由に鳴らす人、歌に合わせて体を動かす人など様々ですが、居場所として楽しんでいます。

回を重ねるにつれて打楽器の賑やかな即興演奏は少なくなり、歌に集中してきました。

12月のクリスマス会には、手分けして買い物をし、食べたり歌ったり、なごやかな会が持てました。

ピアノ伴奏はボランティアの方にお願いしていましたが、3年目にピアノが弾けるメンバーが加わりました。だんだん上達し、曲集すべてがピアノ伴奏で気持ち良く歌えるようになりました。こうしてうたう会は軌道に乗り、20年目を迎えています。

会は2時からですが、始まるまでの時間は、伴奏のメンバーが自由に選んで弾く曲を歌い、会長のあいさつで始めます。

ホワイトボードには、私の選んだ「今月の歌」10曲が書記の手で書かれています。前半を終え、10分ほどの休憩の間に、書記がメンバーからの歌いたい歌名を表示し、後半は一人ずつ前に出て歌うリクエストタイムです。尻込みする人はいません。歌い終えて、拍手の中を誇らしげに席に帰ります。曲によっては2~3人が出たり、全員が出たりし、保護者や家族にも出番があります。最後は、会長の挨拶、さようならの曲を歌って終ります。

第3日曜日午後つばき会館、ご自由に参加ください。



被害者にも加害者にもならないためには！

## ～障がい者の性被害～ 目を背けず、知ることの大切さ



朝日新聞に『子どもへの性暴力』についての記事がありました。

そこには学校、放課後等デイサービス、福祉施設内で起こった性被害のことについて具体的に書かれていました。

読んでいるうちに何ともいえない気持ちになり、続きを読むようになりました。

こんな事が本当にあるんだ…信じたくない、知りたくない。これから先、自分の子にもないとは限らない…。子どもをひとりで行動させたり、人に預けたりすることを怖いと感じました。

この思いをある方に話すと「子育てる中で知っていたら、そうならないよう対処できるよ。客観的に読んだらどうだろう」と言葉をかけて頂き、その言葉でまた記事の続きを読む気持ちになりました。知ることで、恐れるのではなく、今我が子にある課題の重要さを再確認しました。

学んだこと：まだ大丈夫。いつか分かる。と思わず、丁寧に子どもに伝え続けていく。

ひとりで解決できない時は相談する！



## いきいきバスとパスピーと



先日、息子から連絡がありました。広電バス乗降時、いきいきバスが反応しなかったとのこと。日頃バス利用をしない母には状況がつかめず…障害福祉課に連絡。

どうも不具合を起こしているということで再発行手続きに窓口へ。書類に記入。再交付手数料1,500円を支払い、再発行まで3週間。その間は半額実費負担。

現金トラブルを回避するため、その足で宝町の広電事務所に行き障害者用パスピーを購入。3週間分の料金を計算しあおよその金額をチャージ！使わなくなったら手数料を支払うとカードの残金を戻してくれると聞き、いきいきバスが届いたらまた手続きをすることにしました。

今回の事で、まず『どうするか』の判断とその後の手続きの多さ。その手続きのための移動手段など、他の方はどうしているんだろうと不安を感じました。

学んだこと：親も子も「よろず相談」困った時に相談できる人・場所につながっていく事が大切。具体的にどこなのか誰なのかを学んでいきたいです！

お問合せ先：吳市障害福祉課支援グループ 25-3523

吳市手をつなぐ育成会 24-2260

### 書籍について

「ひとりだち」など書籍の中には、障害者の性に関する内容のものがあります。  
販売、貸出し可能な書籍もあります。

お問合せ下さい。



# 武ちゃんのお母さん！

落ち込み知らずの私が鬱になったんよ。  
9月のはじめに武田シズ子さんから息子さん  
の話、今の思いを語っていただきました。

昭和 48 年 7 月 15 日 2450g。名前は  
『貴司』少し小さいけど元気な赤ちゃんが産声  
をあげました。毎日夜泣きがひどく大変でした。

1 歳過ぎても言葉がなく、心配で心配で耳鼻  
科へ受診。先生には何ともないと言われ、その足  
で呉市のことばの教室に行きました。

当時の先生に自閉症と言われ、初めて耳にし  
たその言葉に戸惑いました。

3歳になった頃、幼稚園に入園。お母さんの付  
き添いが必要と言われ、毎日一緒に通いました。

その後、当時広にあった『はなぞの学園』の幼  
児部に入園。そこで、初めてトイレの支援、朝の  
会、服の脱ぎ着等の具体的な指導を受け、教育つ  
ていいなあと思いました。そこで親との交流も始  
まり、自閉症・ダウントン症の子のお母さんにも出  
会いました。母さん達には力になってもらい、今  
でも交流が続いています。

就学は地域の小学校の養護学級に入学。

ダウントン症の子と2人の学級で、先生に恵まれ  
ました。小学校でのお母さんとの出会いが大人  
になっての親の会に繋がっていく事になります。

中学校は地域外の養護学級へ進学。先生から  
「こんな子供は見たことがない」と言われ、他の  
生徒の学習のことも考え、毎日学校について行  
きました。

何もできないと思っておられた先生に、息子  
には字が書けることを伝えました。他の生徒は  
息子に気軽に声をかけてくれ、遠足でも一緒に  
行動してくれました。

高校は呉養護学校に進学。当時の学校は何にも  
しない所。勉強させてくださいとお母さん達  
でお願いにもいきました。

高等部3年生のころ、卒業後  
に行く「作業所」を作ろうとお  
母さん達が立ち上がり、まずお  
金を貯めようとバザーなど何  
度もし、寄附を集め、お父さん



令和  
手をつなぎ  
生きる vol. 15



も加わり作業所立ち上げの運動をして「作業所  
みのり」を立ち上げました。その頃、皆と一緒に  
に育成会と出会いました。

二十歳を過ぎたころ、主人は B 型肝炎・心  
臓病で入退院を繰り返し、姑の介護、息子は糖  
尿病(食事制限も難しく)ととてもしんどい  
日々を過ごしていました。

その頃、息子の楽しみはバスに乗ること。毎  
日乗って時間を過ごしました。ある日、帰って  
こないことがあり警察に連絡しました。「23  
歳 184cm 100キロ。いじめられていないで  
しょうか、事故に遭っていないでしょうか」と  
いうと警察が「大人でしょう。…」と。

初めて大人だと気付かされた瞬間でした。

また、私が疲労困憊で倒れた時、食事の心配  
をする私に、息子が電話を持ってきて「おかあ  
ちゃん、救急車を呼ぶにやあ死ぬよ」と言つ  
てくれ入院に至りました。息子に命を救われま  
した。

息子は私の入院を期に「あとの郷」に入所。  
退院後も息子の将来を考え、娘とも相談し入所  
を継続。自宅と入所の生活が続きました。

そんな息子の穏やかな生活が一変したのは、  
42 歳になった年。昼食時に急変。脳出血。

一命はとりとめたものの 13 日後静かに旅  
立ってしまいました。

今、育成会のうたう会や本人さんの会に参加  
してくださる武田さんは、以前鬱だったと思わ  
せないほど、とっても元気で楽しそうにしてお  
られます。

「遊ぶのが好き！歌や芝居や美術館巡りも  
好き！にぎやかのが大好き！」と笑顔で言わ  
れた後、ポツリと「うたう会のみんなとおると  
息子も一緒におることができるんよ。みんなお  
ることが私の救いなんよ」と言われました。

お母さんの笑顔の中に、バスの中から微笑む  
武ちゃんの姿を思い出しました。 (徳永)



# きらめき学級の紹介 和庄中学校

きらめき学級は今年度、1年4名、2年2名の6名で楽しく元気に活動しています。  
「こんな学級にしたいな」「和庄中学校のみんなとつながっていきたいな」というひとりひとりの思いを大切にして学級目標を考えました。



温かい言葉で笑い合おう  
仲間を思い 助け合おう

みんなの思いが込められた学級目標をデザインした学級旗です。  
6人6色それぞれの個性を大切にという思いで各自のテーマカラーを配色しました。



学級での活動の様子を紹介します。



学校菜園では夏はジャガイモの栽培をしました。

秋はサツマイモの栽培をしています。収穫が楽しみです。

「どんどん・やー！」  
音楽活動では和太鼓などの打楽器アンサンブルにチャレンジしています。



# ほんにんかつどうほうこく 本人活動報告

9月18日19日の連休に日本列島を縦断した台風14号！



ご本人たちの行事も両日とも中止になりました。そんな台風。ご本人はどのように過ごされたのか聞き取りをしました。災害時の支援のヒントになるかもしれません。

台風に備えて、前日に家の周りの飛んでいきそうなものを倒したり、片づけたりしました。買い物も多めにしました。（本人）

日曜日の16時ごろ停電になった。短い時間だったけど外も薄暗くなっていたせいか、すぐライトをつけても不安そうでした。（なんで停電になったのか意味が分からぬもあり）同居の甥や姪がミニライトを持って楽しそうにはしゃいでいても、障害の娘の不安な表情は続きました。（35歳 家族）

防災無線の内容を聞かれたので「風雨がひどいから外に歩いている人は帰ったほうがいいよ」と言つてゐるよ」と伝えたら、おばあちゃんに何度も「外を歩くとあぶない。」と言つて、恐怖心だけが残ったようでした。

本人にわかるよう、もう少し丁寧に説明すればよかったです。（中学生 母）

土曜日、台風に備え、家の周りの片付けをしました。ほうきで掃き集めることが得意な息子は土が下水に流れないよう集めてくれました。

月曜日は出勤日でしたが、公共交通機関が止まり送迎をしました。台風の影響もあり仕事の内容もいつもと異なり早めの帰宅でした。風雨の音が怖いのか、カーテンを閉めテレビの台風情報をしながら、被害状況を伝えてくれていました。（33歳 家族）

台風でどこにも外出できず母子ともストレスが溜まりっぱなしでした。

嘘泣き、自傷行動、物（スマホ）にあたるなど大変でしたが、カゴ3つと段ボール3箱に本人の好きな食べ物を入れ、周りに置いてやりました。他に興味がない娘に悪いと思いながらも、食べることで落ち着かせるという事ができませんでした。（33歳 家族）

ゴミを出してくれることが習慣化している息子に、月曜日朝、風雨がひどいため、「今日は出さない」と伝えると、理解できなかつたのかパニック。「次に出します。」と何度も伝えて伝わらず。困りました。お父さんがいたので、髭剃りをしようと提案し何とか気をまぎらせました。（24歳 家族）

初めて雨戸を閉めました。雨があたる音や、風のゴーという音が恐ろしかったのか、外を見ることも怖がっていました。

別に暮らしているお姉ちゃんが戻ってきて、息子も安心して過ごすことができました。（23歳 母）

月1回の楽しみにしている会が中止になりました。この台風で私の家は、屋根の一部がはがれて、雨漏りがしました。しかしケガなどはしていません。10月は元気で会いましょう。（支援者 岩木）



☆ありがとうございました☆  
【順不同・敬称略】(9月20日現在)

### ご寄付いただいた皆さん



匿名  
サポート会員の皆さん

市橋 恵子 村永 朋  
迫田 千恵子 匿名



学習会のお知らせ  
台風14号の影響により延期になった手話  
言語条例・情報コミュニケーション条例  
『学習会は 10月9日13時から福祉会館  
3階会議室で開催します。皆さんご参加く  
ださい。

2022年 第8回  
スペ

### シャルオリンピックス日本

#### ■ 大会特設サイト

<https://sonippon.wixsite.com/so-2022-hiroshima>



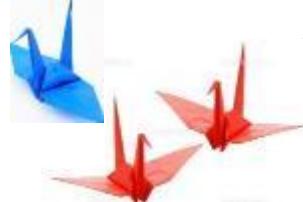
クリスマス会ご案内

今年も、呉南ロータリークラブ、  
清水ヶ丘高等学校インタークトクラブの皆さん  
と楽しい時間をすごしませんか。

日時：12月11日(日)10時～11時半(受付9時半)  
場所：未定(申込時にお伝えします。)  
内容：輪投げ カローリング プレゼント渡しなど  
申込締切：11月30日※当日受付はありません  
呉市手をつなぐ育成会 024-22260

10月23日 県福祉大会(本人大会)  
ひろげよう本人活動つなげようみんなの思い  
分科会レクレーションは折り鶴を折って  
平和公園へ捧げます。

参加できない皆さんも折り鶴を折って参加  
しませんか。育成会に持ってきてください。



### サポートファイルを書こう

11月15(火)10時～

サポートファイルは、障害の軽い方も記入できます。将来を見据え幼い時から大人(高齢)になっても支援の必要な人が、生涯にわたり、一貫性のある支援を受けて、安心で安全な生活が送られることを願ってできました。

この機会に、障害のある子の記録を書き込んで活用していきませんか。個人学習会も可能です。



### 編集後記

お母さんから嬉しいお電話を頂きました。六月、体調を崩して入院している本人さんに宛てて、「早く良くなりますように」とたなばたの短冊に願いを書きました。その短冊と手紙、みんなで撮ったお花見や七夕の写真をご家族のもとに送りました。入院先に届いたメッセージを嬉しそうに読んでくださったようです。今、家族も本人も高齢化し、認知症や病気で行事等に参加できない方もおられます。「〇〇君元気かね?」と仲間が大好きだった曲をみんなで歌って、会える日を心待ちにしています。ゆっくりでいいから…待ってるよ。健康、一番の宝物かもしれませんね。